

**CASBEE-建築(新築)2014年版**  
株式会社オリエンタルペーカリー精進町工場

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版  
■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2014(v.3.01)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>2.9</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.30</b>					<b>3.2</b>
1 音環境		3.2	0.15					3.2
1.1 騒音		3.0	0.40					
1.2 遮音		3.0	0.40					
1 開口部遮音性能		3.0	0.60					
2 界壁遮音性能		3.0	0.40					
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)								
4 界床遮音性能(重量衝撃源)								
1.3 吸音	壁・天井に使用する断熱パネルは断熱材が使われており、吸音性もあ	4.0	0.20					
2 温熱環境		3.0	0.35					3.0
2.1 室温制御		3.0	0.50					
1 室温		3.0	0.38					
2 外皮性能		3.0	0.25					
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38					
2.2 湿度制御		3.0	0.20					
2.3 空調方式		3.0	0.30					
3 光・視環境		2.6	0.25					2.6
3.1 屋光利用		1.8	0.30					
1 屋光率		1.0	0.60					
2 方位別開口								
3 屋光利用設備		3.0	0.40					
3.2 グレア対策		3.0	0.30					
1 屋光制御		3.0	1.00					
3.3 照度		3.0	0.15					
3.4 照明制御		3.0	0.25					
4 空気質環境		4.2	0.25					4.2
4.1 発生源対策		5.0	0.50					
1 化学汚染物質	建築材料はほぼ全面☆☆☆☆を採用する	5.0	1.00					
4.2 換気		3.0	0.30					
1 換気量		3.0	0.33					
2 自然換気性能		3.0	0.33					
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33					
4.3 運用管理		4.0	0.20					
1 CO <sub>2</sub> の監視		3.0	0.50					
2 喫煙の制御	建物全体を禁煙とし、別途喫煙者に対しては喫煙室を設ける	5.0	0.50					
<b>Q2 サービス性能</b>			<b>0.30</b>					<b>3.1</b>
1 機能性		3.3	0.40					3.3
1.1 機能性・使いやすさ		2.6	0.40					
1 広さ・収納性		1.0	0.33					
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.33					
3 バリアフリー計画	京都府福祉のまちづくり条例協議済み	4.0	0.33					
1.2 心理性・快適性		4.0	0.30					
1 広さ感・景観	事務室の天井高は2.7m以上で、窓を設ける	4.0	0.33					
2 リフレッシュスペース	リフレッシュスペースが執務スペースの1%以上、自動販売機を設置す	5.0	0.33					
3 内装計画		3.0	0.33					
1.3 維持管理		3.5	0.30					
1 維持管理に配慮した設計	用途が食品工場であるため、できるだけ衛生が保たれる設計とする	4.0	0.50					
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50					
2 耐用性・信頼性		2.9	0.30					2.9
2.1 耐震・免震		3.0	0.50					
1 耐震性		3.0	0.80					
2 免震・制振性能		3.0	0.20					
2.2 部品・部材の耐用年数		2.8	0.30					
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20					
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20					

2.4 信頼性			3.0	0.20			
1	空調・換気設備		3.0	0.20			
2	給排水・衛生設備	節水器具の使用、配管の系統区分をし、井水の利用をする	4.0	0.20			
3	電気設備		3.0	0.20			
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20			
5	通信・情報設備		2.0	0.20			
3 対応性・更新性			2.9	0.30			2.9
3.1 空間のゆとり			3.4	0.30			
1	階高のゆとり	3.9m以上とする	5.0	0.60			
2	空間の形状・自由さ		1.0	0.40			
3.2 荷重のゆとり			2.0	0.30			
3.3 設備の更新性			3.4	0.40			
1	空調配管の更新性		3.0	0.20			
2	給排水管の更新性		3.0	0.20			
3	電気配線の更新性		3.0	0.10			
4	通信配線の更新性		3.0	0.10			
5	設備機器の更新性	増設用のスペースを確保する	4.0	0.20			
6	バックアップスペースの確保	増設用のスペースを確保する	4.0	0.20			
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.40			2.5
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30			2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40			3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30			2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50			
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性							3.3
LR1 エネルギー			-	0.40			3.4
1 建物外皮の熱負荷抑制				-			3.1
2 自然エネルギー利用		太陽光発電パネルを設置する	5.0	0.13			5.0
3 設備システムの高効率化		BEI 非住宅 0.96 住宅(専有部) 0.83	3.3	0.63			3.3
集合住宅以外の評価(3a.3b)		BEIm値=1.00	3.3	1.00			
集合住宅の評価(3c)				-			
4 効率的運用			3.0	0.25			3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00			
4.1 モニタリング			3.0	0.50			
4.2 運用管理体制			3.0	0.50			
集合住宅の評価				-			
4.1 モニタリング				-			
4.2 運用管理体制				-			
LR2 資源・マテリアル			-	0.30			2.9
1 水資源保護			3.4	0.20			3.4
1.1 節水		省水型便器を採用する	4.0	0.40			
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60			
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70			
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30			
2 非再生性資源の使用量削減			2.7	0.60			2.7
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.11			
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22			
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.22			
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		再生骨材の路盤材利用	1.0	0.22			
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-			
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体と仕上げ材が容易に分別可能になる(S造による)	4.0	0.22			
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20			3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30			
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70			
1 消火剤			-	-			
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50			
3 冷媒			3.0	0.50			
LR3 敷地外環境			-	0.30			3.5
1 地球温暖化への配慮		太陽光発電パネルを設置する	5.0	0.33			5.0
2 地域環境への配慮			2.6	0.33			2.6
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25			
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50			
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.5	0.25			
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25			
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25			
3 交通負荷抑制		駐輪場及び駐車場の適切な場所、数を設置する	5.0	0.25			
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25			
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33			3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40			
1 騒音			3.0	0.33			
2 振動			3.0	0.33			
3 悪臭			3.0	0.33			
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40			
1 風害の抑制			3.0	0.70			
2 砂塵の抑制				-			
3 日照障害の抑制			3.0	0.30			
3.3 光害の抑制			3.0	0.20			
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70			
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30			